

2015年7月9日(木)

報道関係者各位

みなとメディアミュージアム実行委員会

みなとメディアミュージアム 2015
プレスリリース

minato-media-museum.com

MMM 実行委員会

アートは地域を変えられる
MMM
みなとメディアミュージアム

2015年8月9日(日)~30日(日)
茨城県ひたちなか市 ひたちなか海浜鉄道湊線沿線地域

主催：みなとメディアミュージアム実行委員会 <http://minato-media-museum.com>
共催：ひたちなか海浜鉄道株式会社 / ひたちなか商工会議所 / おらが港鉄道応援団 / 常盤大学 / 宝塚大学東北メディア芸術学部
後援：ひたちなか市 / ひたちなか市教育委員会

MMM2015「トランスファー」

8月9日(日) - 8月31日(日)

みなとメディアミュージアム(以下、MMM)は、8月9日(日)から8月30日(日)までの20日間、まちをアート作品で彩る「MMM 2015」を開催します。

茨城県ひたちなか市の海浜鉄道沿線のまちを中心に、芸術表現と地域の協同によってまちの活性化を図ります。

今年は総勢21組のアーティストらが参加。絵画、彫刻、版画、映像、メディアアート、写真、インスタレーションなど様々なジャンルの作品が風景と混ざり合うように設置され、まち全体をひとつのミュージアムに変えます。何気ない街角の作品が、ふだんは見過ごしてしまっているまちの魅力、そしてあなたの中に眠っている感性との出会いを引き起こします。

- 展示会名： みなとメディアミュージアム 2015
 会期： 2015年8月9日(日) - 8月30日(日)
 会場： ひたちなか海浜鉄道湊線車両/駅構内、那珂湊地区商店街
 交通： 常磐線「勝田駅」にて、ひたちなか海浜鉄道乗り換え → 「那珂湊駅」下車
 主催： みなとメディアミュージアム実行委員会
 共催： ひたちなか海浜鉄道株式会社、おらが港鉄道応援団、ひたちなか商工会議所、宝塚大学、常盤大学
 後援： ひたちなか市、ひたちなか市教育委員会
 観覧料： 無料
 公式HP： <http://minato-media-museum.com>
 公式Twitter： @minatom_m
 広報担当者： 高草真生
 連絡先： 電話・090-6656-4486 メール・minato.media.museum@gmail.com

これまでの MMM の様子



MMM2015 テーマ「トランスファー」

踏切の向こう側は、遮断機が上がる時には違う景色になっている。

踏切の向こう側を見つめる自分は、電車がやってくる前とおなじだろうか？

いつもは右に流れていくはずの駅名が、今日は窓枠の左側へ吸い込まれていく。

窓の向こう側を見つめる自分は、電車が発車する前とおなじだろうか？

ちょっとしたきっかけで垣間みることのできる、新しい町並み。

いつもの風景に鮮やかな変化を感じたり、はじめての景色に愛おしい懐かしさを覚えたりする。

いつもの場所を、いつもとは違う視点で見る。

自分の向こう側は、誰かのこちら側かもしれない。

あなただけの乗換え駅へ、ようこそ。

開催概要

みなとメディアミュージアム（以下、MMM）は、茨城県ひたちなか市ひたちなか海浜鉄道湊線沿線を舞台に開催する現代アートプロジェクトです。

web などを通して全国からアーティストを募集し、コンペティションののち出展者と作品を決定します。出展された作品は会期中（8 月中、約 3 週間）、那珂湊の駅やまちなかを中心に、ひたちなか海浜鉄道沿線や車輦内にも展示されます。カフェやワークショップの運営も行います。

「産（那珂湊地区商店街、ひたちなか海浜鉄道湊線）+学（主に大学教員、大学院生、大学生）+芸（アーティスト）」の三者からなる実行委員会により運営されており、芸術表現と地域との協働によるまちの活性化を目的として活動しています。2009 年に第一回を開催し、今年度で第七回目の開催となりました。

イベントのビジョン

湊線は赤字で経営状況が厳しかったため、2008 年に廃線する可能性がありましたが、ひたちなか市の要請により存続が決められました。私たちは MMM 開催を通し、湊線を中心としたひたちなか市の地域活性化を目指します。

年々規模が拡大してきた MMM。「アートは地域を変えられる」を合言葉に、今年度はさらに地域との絆を深めて進んでいきます。是非皆様お誘い合わせの上、いらしてみてください。

メディア掲載・表彰等

MMM は 2009 年より開催しており、多くの方々にご来場頂きました。また、テレビ東京、NHK 水戸、ケーブルテレビ茨城、IBS ラジオ茨城放送、茨城新聞、常陽新聞、交通新聞など、多くのメディアにも取り上げていただきました。2012 年 2 月には、いばらきイメージアップ大賞の奨励賞を受賞。2014 年 11 月にはひたちなか市誕生二十周年記念式典にて表彰されました。

MMM 開催企画



海の駄菓子屋 みなとカフェ

—嘉悦大学生と MMM (みなとメディアミュージアム) がコラボしたカフェ—

海の駄菓子屋をコンセプトとし大人と子供がともに楽しめるコミュニティカフェです。今年で四年目を迎えるみなとカフェは昨年同様、嘉悦大学フードビジネスゼミの学生がスタッフとして運営いたします。親子連れや子どもたちに楽しんでいただけるイベントをたくさん企画しております。



おさむシアター

「おさむシアター」とは湊線にある鉄道車両ケハ 601 をミニシアターにして、東京芸術大学アニメーション専攻の大学院生の作品を始め、様々な映像作家らの作品を上映する試みです。今年は昨年以上に充実したプログラムを予定していて、内容は大人から子どもまで楽しめるものをセクションいたします。



那珂湊第一小学校の子どもたち+アーティストによる作品展示

那珂湊第一小学校で MMM と参加アーティストが子どもたちといっしょに作った作品が展示されます！暗闇で光る子どもたちの個性的な魚の絵、子どもたちの「ヒミツの場所」が描かれた地図、宛先のない、子どもたちの本音の手紙などを展示。子どもたちの個性あふれるアート作品が、まちの随所に展示されます。是非親子連れでご覧ください。

その他

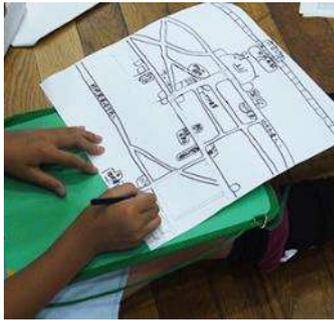
那珂湊商店街で行われる地域のイベント、ドゥナイトマーケット (8/15) や、湊公園で行われる、松の木サマーパーティー (8/29) に出展、ワークショップや作品展示を行います。アート・デザイン・ワークショップ等を通してまちづくり活動を行う、常磐大学のサークル「M4」も参加。都心の大学生、茨城の大学生に加え、地元の高校生なども関わって、多世代交流の場となっています。

アーティスト情報（抜粋）



【山口浩子】地域に根ざした作品群、湊線・絵手紙応援隊。

2年前に生まれた絵手紙愛好者のグループです。毎年全国の有志から湊線を応援する絵手紙を集め、車内の展示やギャラリー展、沿線スケッチなどを行っています。今回、2年分約500枚の絵手紙で、憩いの小部屋を作ります。津々浦々からの熱い応援を全身で感じて、受け止めて下さい。



【43・石橋匠】那珂湊第一小学校の子どもたちと共に、「ヒミツの場所」を描いた地図を作成、展示。

受賞・出展歴：シズオカ「KAGU」国際デザインコンペティション 2004／代官山インスタレーション 2005／グランシップアートコンペ 2012／みなとメディアミュージアム 2013／NCC Shizuoka 2013 EXHIBITIONS



【田中彰】那珂湊の風景をモチーフにし、巨大な柱に版画を彫り込む。

1988年岐阜県出身。武蔵野美術大学大学院版画コース修了。主な展示はYogyakarta Open Studio 2014、田中彰と五人の伝(長岡)、ENTRE DOIS MONDES(サンパウロ)など。



【中内友紀恵】古い電車を再利用し生まれた映画館、「おさむシアター」にてアニメーション作品を上映。

東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻修了。音楽を題材にしたアニメーションを制作している。代表作「祝典とコラル」が「オタワ国際アニメーションフェスティバル」「ザグレブ国際アニメーション映画祭」に入選、「第18回学生CGコンテスト」にてSILVERを受賞。

アーティストらによるイベント情報（抜粋）

【アーティスト名】安田学園鉄道研究部

【イベント名】復活！キハ222

【日程】8月8日（土）、9日（日）2日間開催

【開催時間】8月8日（土）14：00～16：30 8月9日（日）9：30～12：30

【場所】湊公園

【概要】2014年12月6日に引退してしまったキハ222。2日間限定、鉄道模型として運行します。乗車することができますので、是非遊びに来て下さい。大人から子供まで大歓迎です。

【アーティスト名】フジシロリョウ

【イベント名】湊公園ライブペイント@湊公園サマーパーティ

【日程】8月29日（土）

【開催時間】未定 30分～60分程度

【場所】湊公園

【概要】湊公園のイベントにてフジシロがライブペイントします！イベントステージにて30分～60分のライブペイント！那珂湊からインスピレーションをうけた、popでかわいい絵をごらんください！

【アーティスト名】月蝕のサーカス団（磯部沙恵里 ピーナッツ・アビンドキア）

【イベント名】月蝕のサーカス

【日程】8月16日（日）、30日（日）

【開催時間】17日：19時30～ 30日：15時～

【場所】那珂湊駅プラットホーム

【概要文】クレズマー、トイミュージック、冗談音楽などに影響を受けるSAX奏者ピーナッツ・アビンドキア、人形達を従え旅を続けるサーカス団。磯部沙恵里の世界を朗読、演奏、マイムを散りばめたパフォーマンスで表現。夜のプラットホームではセルヴェ、デルヴォーに捧げる。

MMM 実行委員会連絡先

広報担当者：高草真生

連絡先：090-6656-4486

minato.media.museum@gmail.com

公式HP：minato-media-museum.com